



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R6年4月

『クリエイティブデモクラシー～「わたし」から社会を変える、ソーシャルイノベーションのはじめかた』(一社)公共とデザイン【著】/ピー・エヌ・エヌ新社 (2023/10)

ソーシャルイノベーション



行政のイノベーションラボ立ち上げや、地方自治体・企業・住民と社会課題に向けた共創に取り組む「(一社) 公共とデザイン」が案内する、自分の足元から社会変革に踏み出すための思考と実践の手引書。「クリエイティブデモクラシー」に至る道筋とは？

『自治体議会を考える～そのあり方探求 住民の期待に応え議員としての役割を果たすために～』川崎政司【著】/第一法規 (2023/9)

地方議会



自治立法における議会・議員の役割とは何か？ 議会改革の動向に留意しつつ、自治立法の担い手としての自治体議会・議員像について総合的に解説。議会・議員の果たすべき役割を深く理解し、住民の期待に応える活動を行うための視点をつかめる1冊。

『空き家になる前の空き家対策～所有者とともにまちを変える方法』大塚誠也【編著】/学芸出版社 (2023/8)

空き家対策



これからの空き家対策は、空き家になる前に動き出すことだ！ 岡山県を中心に実践と検証を繰り返してきたプロジェクトチームによる住宅所有者の行動変容を促すステップやノウハウを解説。成功・失敗事例、全国の先進的取組も紹介。

『SDGsの先駆者～9人の女性とごみ環境』

SDGs

青木泰【編著】/イマジジン出版 (2023/10)



ごみの焼却による環境への影響の調査方法、陶磁器再生、生ごみと花の苗を交換し街を花いっぱいにする活動など、消費者・研究者・公務員それぞれの立場の女性たちが切り拓いた「ごみを取り巻くSDGsな課題解決の功績」を紹介。元気になれる1冊！

『ギフティッドの子どもたち』

教育

角谷詩織【著】/集英社 (2023/11)



アメリカ文科省で1993年に定義された「ギフティッド」。日本でも「特定分野に特異な才能のある児童生徒」への支援事業費を2023年度に初めて予算化。“誰一人取り残さない教育”という潮流の中で光が当てられているギフティッド支援児。そんな彼らを理解し、多様な可能性を知るための1冊。

『公立文化施設のガバナンス論～自治体によるアカウンタビリティの実践と変容』

文化政策

渡部春佳【著】/早稲田大学出版部 (2023/3)



自治体の財政負担の削減を目的とするNPM型改革。地方議会議事録をもとにアカウンタビリティの実態を分析し、地域の人々と持続的な関係を築きながら公共的価値を形成する方法を探る。自治体の文化政策の進むべき方向性を考察する書。

『Z世代の生徒とつくるはじめての部活動』部活動

浅見和寿【著】/明治図書出版 (2023/10)



「Z世代の子どもたち」が持つ長所。その長所を生かした指導を行うことで、より良い部活動は実現できる！ 部活動アップデートの視点、顧問のあり方などを多様なキャリアを持つ現役教師がまとめた1冊。これからの「持続可能な部活動づくり」に役立つ書。

『おとな六法』

話題/法律

岡野武志【著】/クロスメディア・パブリッシング (2023/10)



生きているかぎり、無関係ではいられない「法律」。そんな法律を身近に感じられるような日常の愉快的な質問に回答！ 堅くなりながらも法律知識を、カジュアルにクスリと笑いながら学ぶことができる。コンプライアンスが厳しい現代社会に必須の話題の1冊。

『小山さんノート』

現代社会問題

小山さんノートワークショップ【編】/エトセトラブックス (2023/10)



「小山さん」と呼ばれたホームレスの女性が書き遺した80冊を超えるノート。そのノートから抜粋した、彼女が生きた記録の書。夫からのDV、貧困、テント村内の差別や暴力に脅かされながらも、日々の小さな楽しみを探し懸命に生きた一人の女性の姿を追う。

▶トピックス：「防災・減災」に関する書籍

新着

『矛盾の水害対策～公共事業のゆがみを川と森と人のいとなみからたどす』

谷誠【著】/新泉社 (2023/12)



どんなに強固な治水対策をしても、完全に洪水や土砂災害を防ぐことは不可能である。農業・林業を壊滅させる公共事業を問い直し、自然や人間の営みと折り合いをつけ実現できる、「治水対策」を提言する。

新着

『増災と減災～行き過ぎた再生可能エネルギー開発による災害への警告』

鈴木猛康【著】/理工図書 (2022/5)



現代の増災について、「行き過ぎた再生可能エネルギー開発」と「グランピング開発」の2つの可能性から解説。また、グランピング開発の問題を通して「縦割り行政の弊害」が大災害へとつながる危険性を事例を挙げて説明する。

『災害とトイレ～緊急事態に備えた対応』

日本トイレ協会【編】/柏書房 (2022/6)



災害発生! 水洗トイレが流せないときどうする? 避難所のトイレが使えない場合の応急処置とは? 災害大国に暮らす上で知っておきたい緊急時のトイレ問題。リアルな経験から得られた生きた教訓を紹介!

『私たちはいつまで危険な場所に住み続けるのか～自然災害が突き付ける日本の超難関』

一般社団法人 みつめる旅【著】/日経BP (2021/10)



長年にわたって被災地の取材を担当してきた建築・住宅・土木分野の専門記者が「気候変動の世紀」を生き抜くための手掛かりを提供する。防災対策や街づくりのあり方を考察する1冊。



図書広報委員がおすすめる一冊

『座右の書『貞観政要』

～中国古典に学ぶ

「世界最高のリーダー論」～



著者 出口治明/KADOKAWA

(2019年12月)



紹介者：高井 俊一郎副委員長

自由民主党・高崎市選出・2期

出口さんは、ライフネット生命保険株式会社創業者で、現在は立命館アジア太平洋大学学長です。読書好き・歴史好きな方で著書も多数あります。「貞観政要」は、唐の第2代皇帝太宗・李世民の言行録です。この貞観の時代(627年～649年)は中国史上、最も平和に治まった時代と言われており、クビライ・ハン、北条政子、徳川家康等も愛読した帝王学の名著です。

以前、「貞観政要」を読もうと試みましたが、恥ずかしながら私には難しすぎました。しかし、本書では出口さんが事例を出しながら、リーダーとして大切な姿勢をわかりやすく解説しています。要は、①皇帝であっても決して全能ではないことを弁えている姿勢。②欠点や過失を指摘されることを望み、喜んで聞き入れた姿勢。であると理解しました。

政治家として、経営者として、日々自分を戒めるために繰り返し読んでいます。

次号では、斉藤 優 委員長におすすめさせていただきます!

議会事務局政策広報課 (議会図書室)